

事務局説明資料

第2回多治見市教育基本計画策定市民委員会

2022.9.5

1 第1回教育基本計画策定市民委員会の議論から

★前向きな意見をたくさんいただきました。

【めざす子ども像について】

- ・これからの時代、主体的に社会の変化に向き合って、他者と協働していくことは重要であるため、「主体的」という言葉が含まれているのはよい。
- ・「自己有用感」と「挑戦」は重要であり、その循環が図によく表れている。さらに、失敗しても大丈夫というメッセージが加わるとよい。
- ・「挑戦」という言葉が加わるのはよい。「挑戦」に諦めず挑戦し続けるという概念も含むとよい。
- ・「社会性」、周囲との関わりのなかで自己実現を果たすという視点も必要ではないか。
- ・「主体的」の本質的な部分について、教員が共通理解しておく必要がある。
- ・令和の日本型教育にも示されている「多様性」という文言はどこかに加えたほうがよい。多様な他者の良さを見つけることが出来れば自他を尊重することに結び付く。
- ・地域が子どもたちを支援することも必要であるため、イメージ図にあるように地域が子どもたちを応援する体制が描かれているのはよい。
- ・幼児においても、自己有用感、失敗しても大丈夫という安心感は挑戦するために必要である。

【具体的な施策について】

- ・幼児教育及び幼保小の連携は重要である。「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿(10の姿)」のなかで、自立心は特に重要であり、自立の基礎は幼児期で育つ。
- ・幼保の先生と教員が主体的に研修に取り組むことができる環境があるとよい。
- ・親の子育てを孤立化させないことは重要である。子育てに関する相談窓口を設ける施策があるとよい。
- ・不登校についての対策を話し合う必要がある。
- ・「こども基本法」を念頭におく。
- ・「めざす子ども像」で全員を評価するのではなく、個々に寄り添うことも必要。

次期基本計画(概要)

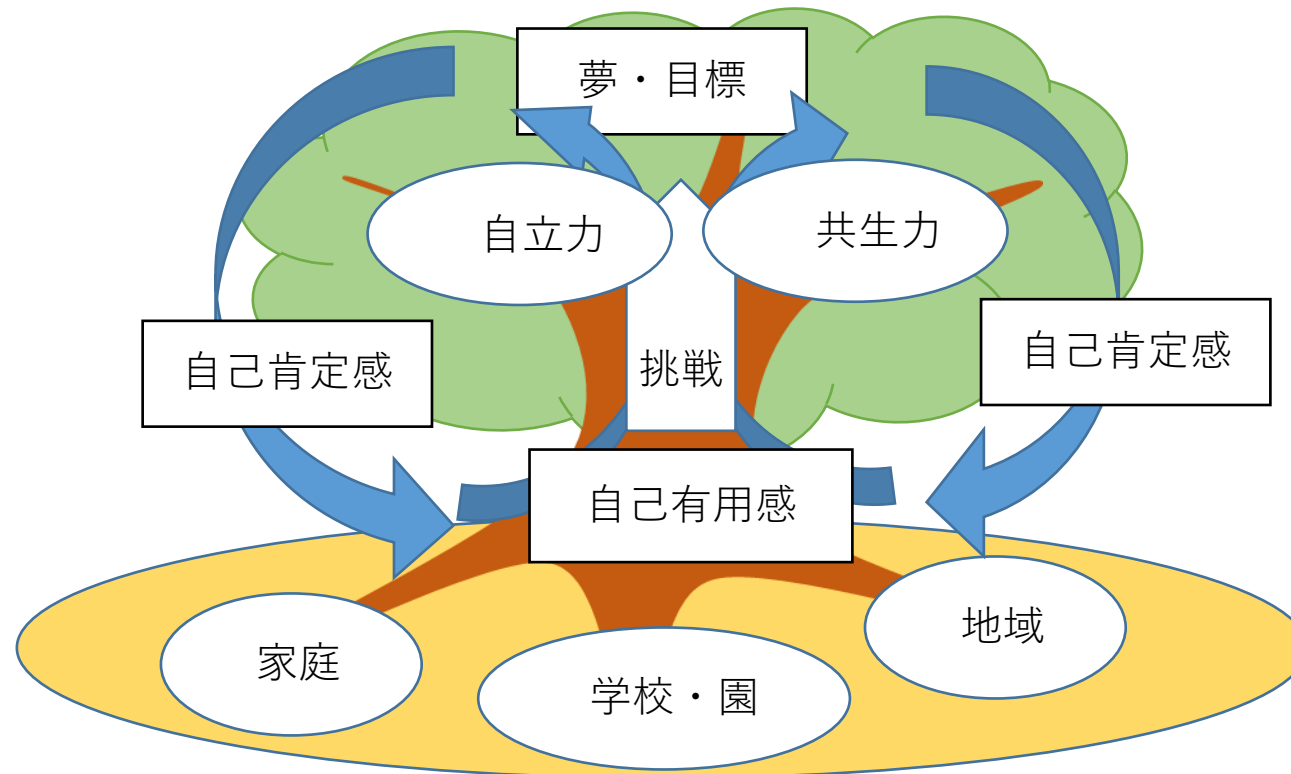
1.めざす子ども像

自他を尊重し、主体的に学び続ける多治見の子

変化が激しく予測が困難といわれるこれからの社会をたくましく生き抜いていくために、主体的に考え、多様な他者と協働し、自分の夢や目標に向かって、学び続ける多治見の子をめざします。

2.子ども像実現のために

家庭、学校・園、地域での関りを通して認識した自分の良さや可能性(自己有用感)をもとに、夢や目標に向かって努力し続けることで(挑戦)、主体的に考える力(自立力)、多様な他者と協働する力(共生力)を育て、小さくても確かな自信(自己肯定感)につなげます。このような夢や目標に向かって挑戦を繰り返すことができる教育環境をインクルーシブの観点を踏まえて整えることで、子ども像の実現をめざします。

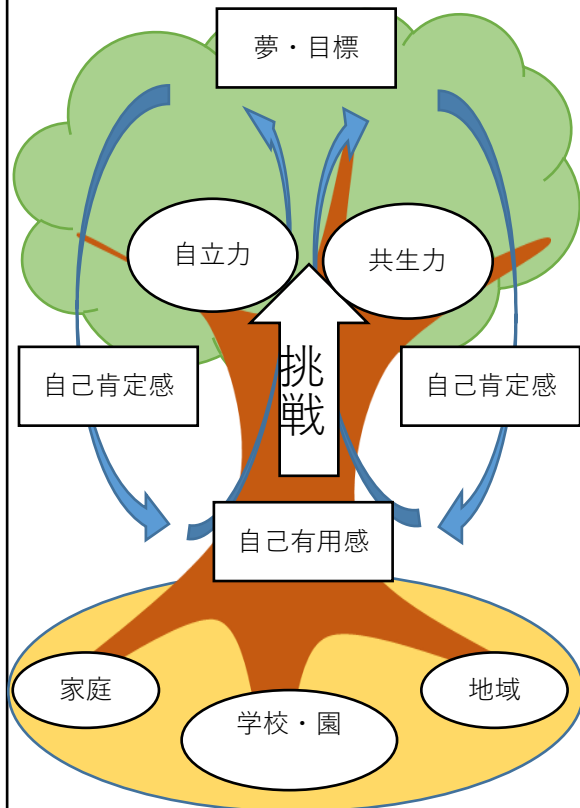


3.計画の体系

子ども像
めざす

自他を尊重し、
主体的に学び続ける多治見の子

子ども像実現のために



基本施策

施策1

学力・体力を高める教育・保育の推進

施策2

社会性と豊かな心を育む教育の推進

施策3

家庭、学校・園、地域の連携の推進

施策4

多様な課題に応じた支援の推進

施策5

学びを支える教育環境の充実

3 施策及び施策に対する事業について

○施策等を考えるうえで重視した事項

めざす子ども像

「自他を尊重し、主体的に学び続ける多治見の子」

(1)「めざす子ども像」実現にむけた事業であること

(2)イメージしやすい事業であること

(3)既存のプランも活かす事業であること

- ・子どもの健康・体力づくりたじみプラン
- ・親育ち4・3・6・3たじみプラン
- ・習慣向上プロジェクト多治見プラン
- ・インクルーシブ教育推進たじみプラン

○施策及び施策に対する事業一覧

施策1

学力・体力を高める教育・保育の推進

- ア 主体的・対話的で深い学びの実現
- イ 運動の楽しさを感じる取組の充実
- ウ 情報活用能力の育成
- エ 食育による健やかな体の育成

施策2

社会性と豊かな心を育む教育の推進

- ア 心の教育の充実
- イ キャリア教育の推進
- ウ 読書活動の充実
- エ 郷土愛を醸成する教育の推進

施策3

家庭、学校・園、地域の連携の推進

- ア 子育て・親育ち支援事業の充実
- イ 青少年健全育成事業の推進
- ウ 学校運営協議会の活性化
- エ 部活動の地域移行化の推進

施策4

多様な課題に応じた支援の推進

- ア 個々の教育的ニーズへの対応
- イ いじめ・不登校の未然防止と対応
- ウ たじっこクラブ(学童保育)の充実

施策5

学びを支える教育環境の充実

- ア 教職員の働き方改革の推進
- イ 幼保小中一貫教育の推進
- ウ 計画的な教育施設や設備の充実
- エ 安全な教育環境の維持

学力・体力を高める教育・保育の推進

事業	具体的な事業
ア 主体的・対話的で深い学びの実現	・学力調査を活用した指導改善を図る学力向上推進委員会の開催 ・先進的な取組を進め広める研究推進校の指定 ・集中力や自信を高める園の「いきいき遊び」の実施
イ 運動の楽しさを感じる取組の充実	・園での「いきいき運動遊び」の実施 ・運動の有用感を味わう機会の活用促進 ・豊かなスポーツライフの実現に向けた保健・体育授業の充実
ウ 情報活用能力の育成	・児童生徒、教職員の情報活用能力を高めるICT教育推進員による支援の実施 ・Society5.0を生きる力を育むデジタルシチズンシップ教育の実施
エ 食育による健やかな体の育成	・学校・園での食に関する指導 ・家庭への食に関する啓発活動

※デジタルシチズンシップ・・・情報技術の利用における適切で責任ある行動規範

社会性と豊かな心を育む教育の推進

事業	具体的な事業
ア 心の教育の充実	・自らの生き方を見つめる「考え議論する道徳」の実施 ・地域や校種間で連携した豊かな体験活動の実施 ・人権教育講演会の開催
イ キャリア教育の推進	・自身の変容や成長を自己評価するキャリアパスポートの活用 ・所属感を高め自己の良さや可能性を発揮する学級経営の充実 ・望ましい勤労観、職業観を養う職業講話、職場体験の実施
ウ 読書活動の充実	・読書に親しむ機会の充実 ・読書から学び、表現する機会の充実 ・子どもの読書活動の評価改善を図る「子どもの読書活動推進委員会」の開催
エ 郷土愛を醸成する教育の推進	・土曜講座「わがまち 多治見大好き講座」の実施 ・地域のリーダー養成を目指す連合生徒会の開催 ・地域について学ぶ社会科副読本の改訂 ・地域の文化財を活用した学びの機会の充実

家庭、学校・園、地域の連携の推進

事業	具体的な事業
ア 子育て・親育ち支援事業の充実	・子育てを行う保護者を支援する、親育ち4・3・6・3たじみプランの推進 ・次世代育成フロアの特性と親子ひろばを活用した子育て支援事業の推進
イ 青少年健全育成事業の推進	・青少年まちづくり市民会議が行う催しへの参画及び参加を推進 ・各校区の青少年まちづくり市民会議の情報交流を推進
ウ 学校運営協議会の活性化	・全小中学校に学校運営協議会を設置 ・学校運営協議会を活用し、保護者や地域住民の学校運営参画を推進。(学習支援、登下校の見守り活動等)
エ 部活動の地域移行化の推進	・部活動・ジュニアクラブ活動の推進 ・各種団体等の連携によるスポーツ及び文化活動の機会の推進

多様な課題に応じた支援の推進

事業	具体的な事業
ア 個々の教育的ニーズへの対応	・ICT機器活用等、学び方に応じた支援の工夫 ・ユニバーサルデザインの授業づくりの推進 ・特別支援コーディネーターの専門性の向上 ・発達相談支援体制の充実 ・障がい者生涯支援システムによる乳幼児期から学齢期にかけた切れ目のない支援 ・医療的ケア児への対応 ・通所支援事業所との連携強化 ・外国籍児童生徒への就学支援 ・要保護・準要保護家庭等への就学支援
イ いじめ・不登校の未然防止と対応	・いじめアンケートの実施(年4回以上) ・年2回のhyper-QUによる調査実施 ・学校・家庭・適応指導教室の連携強化 ・適応指導教室の充実
ウ たじっこクラブ(学童保育)の充実	・受入体制の充実(受入枠の拡充、支援児・外国籍等の対応) ・支援員の質の向上(資格者の増員、クラブ間の研修・交流) ・第3者委員会による事業計画(年1回)

学びを支える教育環境の充実

事業	具体的な事業
ア 教職員の働き方改革の推進	・地域人財活用支援 ・校務支援システムの活用 ・ICTを活用した業務の効率化の促進
イ 幼保小中一貫教育の推進	・多治見型幼保小中一貫教育基本方針に基づく一貫教育の推進 ・早期からの教育相談・社会参加を見据えた教育支援の充実
ウ 計画的な教育施設や設備の充実	・(仮称)笠原義務教育学校の建設 ・精華小学校の整備・計画の検討 ・タブレット端末の更新(3か年計画)
エ 安全な教育環境の維持	・個別施設計画に基づく施設整備の推進→長寿化・保全計画による整備推進

本日の審議事項

- ①修正後の「めざす子ども像」に関してのご意見をいただきたい。
- ②施策1から5及び施策に対する事業についてのご意見をいただきたい。